

授業概要

本講義では、中東から北アフリカ、内陸アジア、そして海域アジアにひろがるイスラーム世界について、軍事史の視点を軸にしつつ、通史的な知識を得ることを目指す。現在、世界有数の紛争地帯を抱えるイスラーム世界であるが、そのために「イスラームは好戦的な宗教である」という偏見が存在している。こうしたイメージに晒されるイスラーム世界と共生するためには、イスラーム世界と軍事とのかかわりの実態を歴史的に把握し、偏見を払拭することが求められている。そこで、軍事、戦争がイスラーム世界の政治・社会・文化的展開に与えた変化について見ていくことで、今日のイスラーム世界が抱える紛争という課題の考察に機会を与えるような講義を行う。

授業計画

第 1 回	はじめに——イスラームは「テロリストたちの宗教」か？
第 2 回	イスラーム世界の地理
第 3 回	イスラームのはじまり
第 4 回	イスラームのひろがり
第 5 回	マムルークの騎兵たち
第 6 回	イスラームから見た十字軍
第 7 回	イスラームから見たモンゴル帝国
第 8 回	イスラームから見た大航海時代
第 9 回	火薬帝国
第 10 回	軍事革命
第 11 回	国民の歩兵と砲兵たち
第 12 回	難民の時代
第 13 回	総力戦の時代
第 14 回	テロリズム
第 15 回	おわりに——イスラームと軍事の将来
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・イスラーム成立から現代まで、イスラーム世界がたどった歴史をおおまかに把握することができる。
- ・各時代・地域における軍事や戦争の特色、イスラーム世界の歴史に与えた影響を理解することができる。
- ・歴史に根差した長期的視野を持つことで「好戦的なイスラーム」像を考え直すことができる。

履修上の注意

高校時代に世界史、さらに地理を履修していた方は、それぞれの教科書の該当する時代・地域について読んでおくとう理解が容易になります。ただし、イチからでも理解できるよう、イントロダクション等で前提知識を補います。

予習・復習

- ・予習の必要はありませんが、授業中に配布したレジュメを読み返してください。
- ・講義で示した参考文献のうち、とくに興味を持ったものを読んでみてください。

評価方法

- ・授業期間中の受講態度（30%）
- ・試験（70%）

テキスト

- ・教科書は使用せず、レジュメを毎度配布します。
- ・そのほか、参考文献を各授業で紹介します。